



和歌山信愛大学  
教育学部 子ども教育学科

男女共学

# WAKAYAMA SHIN-AI UNIVERSITY

地域があなたをつくり  
あなたが地域をつくる大学





私たちと

## 和歌山信愛大学で 一緒に学ぼう

地域から信頼され  
地域から愛される先生に

私たちは、一人ひとりの子どもの思いに寄り添い、そして  
宝物のように愛する心をもった先生を目指しています。

私たちは、一人ひとりの子どもを信じ、子どものもつ可  
能性をしっかりと伸ばしていく力をもった先生を目指  
しています。

私たちは、私たちを包み育てくれたかけがえのない郷  
土を大切にし、地域と共に歩み、地域の未来を拓く先生  
を目指しています。

そんな心豊かでたくましい先生になるために、私たちは、  
キャンパスや地域で、友と共に深く学び合い、熱く  
語り合い、互いを磨き合っています。

将来教育職や保育職に就き、一人ひとりの子を愛し、  
地域を引っ張っていく、そんな輝ける先生を夢見るあな  
たを私たちは待っています。

## CONTENTS

03 学部・学科概要

05 学びの流れ

07 カリキュラム

09 キャリア教育・サポート体制

11 スタディーレポート

13 地域連携の取り組み

15 地域連携体験レポート

17 学生の取り組み

19 教員サポート

21 学生ライフスタイル

23 キャンパスマップ

25 キャンパススケジュール

26 オープンキャンパス

和歌山県下で唯一！

小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の免許と資格が取得できる

# 子ども教育学科

子どもたちの成長を支えるために必要なのは広い視野を持つと同時に個々を大切にする深い人間愛。本学では強さと優しさを兼ね備えた教育者を養成。そこには和歌山の地で「心」を大切にしてきた信愛ならではの“人間を育むチカラ”があります。

3つのこだわりをもって地域から必要とされる  
人間性の高い先生を育てます。

質の高い  
学び



地域  
との関わり



人  
との繋がり



1

## 学び

### 実習サポート

一般的に3年次から始まる教育実習ですが、和歌山信愛大学では1年次から毎年実施。4年間の学習と実習を繰り返すことで教育現場に即した実践力を身につけます。



### 教師塾

和歌山県や和歌山市の教育委員会、現職の教員と連携し、学生の教員免許取得を強力バックアップ。現場の経験を基にした指導でキャリア形成をサポートします。



### 基礎を重視

目指す将来に関わらず、2年次までは全員が乳児から児童に関する基礎科目を履修。それぞれの連続性を理解し、一人ひとりに寄り添った深い学びが得られます。



### 学友とともに

開学間もない大学だからこそ、学生も少なくイベントやサークルの発案、企画運営などもまっさらな状態からできるのが魅力。主体的な取り組みを重ね、責任感や自主性を育みます。

### 教員とともに

一人の学生に対し教員の数が多く、手厚いサポートを受けられるのが特徴のひとつ。チューター制度、オフィスアワーなどもあり、学生と教員との距離が近いことも大きな魅力です。



### フィールド学習

日高川町や湯浅町を訪れ、農作業や醤油醸造などを手伝いながらその町の暮らしを体験。また地域の人たちとの交流を通じて地域の課題や魅力を探ります。



### 地域ボランティア

子ども食堂や障がい者スポーツ大会他、地域のイベントにボランティアスタッフとして参加。積極的に取り組むことにより地域社会で信頼され、必要とされる人材を目指します。



### 地域活性化プロジェクト

大学の近くにある「ぶらくり丁商店街」に賑わいを取り戻すため、組合や行政団体の取り組みに大学として参加。立場や世代を超えた人たちと協力し、町おこしに挑みます。

2 地域



### 地域の人との繋がり

4年間の学びの中には地域連携フィールド学習などを通じて地域の人々と交流する機会もたくさん。人の温かさや地域の恵みに触れ、豊かな人間性を養います。

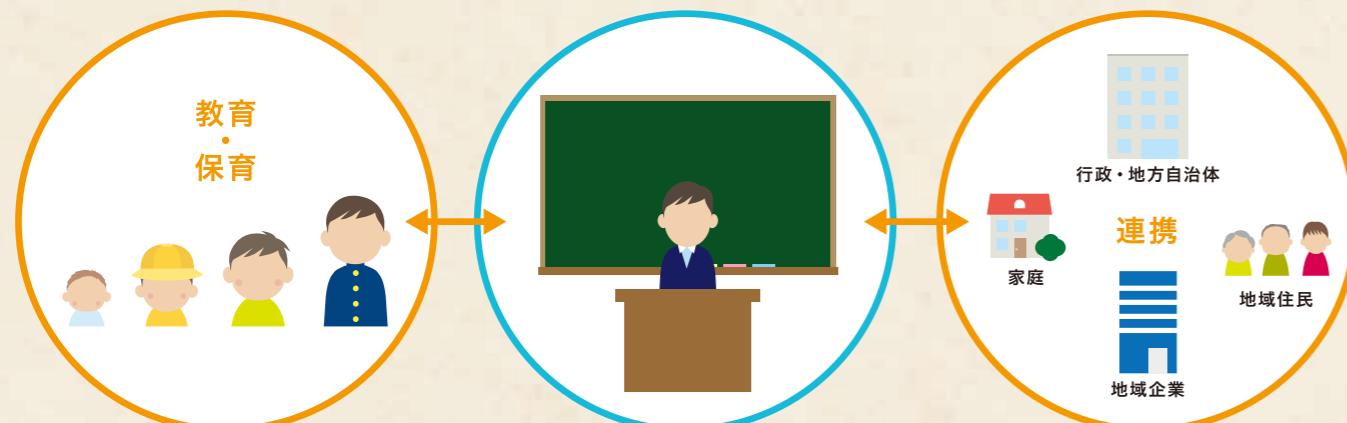
# 1 質の高い学び

子どもの重要な成長の過程を担う乳幼児期から学童期。和歌山信愛大学はこの時期の子どもを導く保育と幼児・児童教育に特化した単科大学です。その特徴は免許・資格取得に必要な知識に加え、現代の子どもを取り巻く様々な問題や地域特性を踏まえた、より専門に富んだ学び。家庭や地域との連携で、学びのスケールを広げます。



## 子ども教育学科

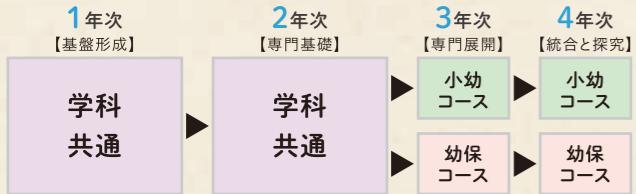
過疎化や少子高齢化などの問題を抱える中、子どもを支える先生には二つの力が求められます。一つは乳幼児期から学童期まで連続した子どもの発達や学びを理解し寄り添う力。もう一つは地域や家庭と協力し子どもたちが健やかに成長できる環境を作る力。子ども教育学科では、子どもと地域の豊かな未来を築く教育者・保育者を育てます。



乳幼児期から学童期までの子どもの発達と教育を  
深く理解し、一人ひとりの人生に寄り添う

### O1 子どもの成長を連続的に理解するために まずは全員で基礎を学習

目指す将来にかかわらず、2年次までは全員が小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、保育士資格に関連する基礎科目を学習。中でも1年次は教育者・保育者としての使命感を養う基盤形成を、2年次は子どものことや教科・保育内容への理解を深める専門領域の基礎固めを重視。基礎をしっかりと固めることで幼・保・小の連続性をより深く理解し、一人ひとりに寄り添った支援のできる先生を育てます。



### O2 さまざまな自治体との連携科目で 地域課題に関する幅広い学習が実現

地域の抱える課題に対してもリーダーシップを持って取り組む力を養うために、多数の地域連携科目を用意。和歌山県や和歌山市をはじめ、多くの自治体のサポートをいただき、活動の場は和歌山全域に広がっています。

### O3 アクティブラーニングの積極的な導入で 一人ひとりの主体性を養う

良質な教育・保育には、知識や技能に加え主体性や思考力、判断力など多様な要素が必要。そのため多彩な演習授業と実践研究科目を用意。ゼミ形式の授業では5~10人の少人数制で時に熱く議論し、実践力を磨きます。

#### 和歌山県下で唯一！小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の免許・資格が取得可能

##### 取得できる資格

小幼コース（35名）

小学校教諭一種免許状  
幼稚園教諭一種免許状

幼保コース（45名）

幼稚園教諭一種免許状  
保育士資格

※コースは、本人の希望と履修状況を加味し、小幼コースと幼保コースに分かれます。

※本人の履修状況と成績により、異なるコースの科目も4年次に履修することが可能となり、3つの免許・資格取得を目指すことができます。

# 4年間の学びの流れ

入学前

進路希望に合った細やかなサポートを受けられます。

入学前を含む早期から教学センターや基礎ゼミナールの教員が、学生の進路希望や適性を把握。入学後のスムーズな就学態勢が整うよう、一人ひとりに合わせたきめ細やかなサポートが受けられます。

1・2年次

2年次までは、全学年が  
同じ基礎科目を学びます。

乳幼児期から学童期までの子どもを深く理解し、継続した教育を担うため、2年次までは全員が小学校教諭・幼稚園教諭の一種免許状、保育士資格に関連する基礎科目を履修。それぞれの基礎を踏まえ、希望のコースへと進みます。

履修モデル					
	月	火	水	木	
1	教職基礎ゼミナール	鍵盤演奏入門	保育原理	発達心理学	教育課程総論
2	信愛教育	スポーツと健康	教職論	図画工作	生活
					お昼休憩
3	英語コミュニケーション	世界の中の和歌山	日本国憲法	日本語表現	音楽
4	教育原理	保育内容総論			

3・4年次

コースの選択 将来を見据えて、専門性を高めます。

3年次からはコース別に専門性を深めると共に初等教育、幼児教育の各教育現場に即した実践力を身につけます。異なるコース科目を4年次に履修すれば三つの免許・資格を取得することも可能です。

小幼コース 35名 教科理解と指導力、学級経営など  
を身につけます。

履修モデル					
	月	火	水	木	
1	小学校実習指導	保育内容実践研究		初等教育教育法(英語)	道德教育指導論
2	初等教科教育法(理科)	キャリアガイダンス	専門ゼミナール	初等教科教育法(算数)	初等教科教育法(社会)
					お昼休憩
3	教科実践研究	特別支援教育・保育	保育実習指導	初等教科教育法(家庭)	生活指導・進路指導の理論と方法
4	鍵盤楽器の表現技法	教師への道		教育相談支援	総合的な学習の時間指導論



幼保コース 45名 保育の表現力と環境構成力、子育て支援力を身につけます。

履修モデル					
	月	火	水	木	
1		保育内容実践研究		音楽表現研究	社会的養護演習
2	教育相談支援	幼稚園実習指導	専門ゼミナール	造形表現研究	子どもの食と栄養
					お昼休憩
3	特別支援教育・保育	鍵盤楽器の表現技法	保育実習指導	保育内容の指導法	子育て支援演習
4	子どもの健康と安全	教師への道			乳児保育

卒業後の進路

小幼コース ►►►

幼保コース ►►►

小幼コースは、小学校教諭一種免許状と幼稚園教諭一種免許状を取得し、主に和歌山県内の小学校及び幼稚園の教員を目指します。

幼保コースは、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格を取得し、主に和歌山県内の認定こども園、幼稚園、保育所、児童福祉施設などで活躍する教員や保育士を目指します。

#### 子どもからも保護者からも信頼される先生に

昔からの夢を叶えるため幼保コースを選択予定。遊びの中で身につけるルールやコミュニケーションといった子どもの遊びや心理、環境づくりなどをしっかり学び、子ども、保護者、同僚から頼られる先生を目指します！



正木 春香さん

#### 幼・小どちらの道も選べるのが嬉しいところ

小学校教諭を目指していたのですが、授業を受ける中で幼児教育にも関心を持ち始めたため、両方をしっかり理解し選べるコース選択制は嬉しいですね。目標は子どもに理想像を示せる教育者です。



矢田 皓己さん



## 4年間のカリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
共通基礎科目	基盤形成	専門基礎	専門展開	統合と探究
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツと健康 I(講義)</li> <li>●スポーツと健康 II(実技)</li> <li>●日本国憲法</li> <li>●国際教育論</li> <li>●ヘルスプロモーション科学</li> <li>●子どもと遊び</li> <li>●情報処理論</li> <li>●信愛教育 I</li> <li>●ボランティア実習</li> <li>●いのちと倫理</li> <li>●日本語表現</li> <li>●情報処理演習 I</li> <li>●英語コミュニケーション I</li> <li>●英語コミュニケーション II</li> <li>●教職キャリアデザイン</li> <li>●教職基礎ゼミナー</li> <li>●教職基礎実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人類生態学概論</li> <li>●こころの科学</li> <li>●子どもと文学</li> <li>●生命と進化</li> <li>●現代メディア論</li> <li>●信愛教育 II</li> <li>●情報処理演習 II</li> <li>●フランス語コミュニケーション</li> <li>●中国語コミュニケーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャリアガイダンス I</li> <li>●教師への道 I</li> <li>●教師への道 II</li> <li>●インターンシップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャリアガイダンス II</li> <li>●教師への道 III</li> </ul>
地域連携科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界の中の和歌山</li> <li>●歴史・文化と風土</li> <li>●郷土の自然</li> <li>●地域連携フィールド学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちづくりの経済学</li> <li>●文学と郷土</li> <li>●地域の生活文化</li> <li>●地域力再生論</li> <li>●地域連携フィールドゼミナー</li> </ul>	●地域防災教育論	
理念・理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教職論</li> <li>●教育制度論</li> <li>●教育原理</li> <li>●保育原理</li> <li>●子ども家庭福祉</li> <li>●教育課程総論</li> <li>●保育の計画と評価</li> <li>●保育内容総論</li> <li>●教育方法論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会福祉</li> <li>●社会的養護</li> </ul>	<p>教科・保育内容の専門領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●鍵盤楽器の表現技法</li> <li>●保育内容の指導法 II</li> <li>●初等教科教育法(算数)</li> <li>●初等教科教育法(理科)</li> <li>●初等教科教育法(社会)</li> <li>●初等教科教育法(家庭)</li> <li>●初等教科教育法(英語)</li> <li>●総合的な学習の時間指導論</li> <li>●道徳教育指導論</li> </ul>	<p>【課題探求科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●教職実践演習(幼小)</li> <li>●専門ゼミナー II</li> <li>●卒業研究</li> </ul>
教科・保育内容の専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>●図画工作 I</li> <li>●図画工作 II</li> <li>●音楽 I</li> <li>●音楽 II</li> <li>●鍵盤演奏入門</li> <li>●子どもの表現 I</li> <li>●生活 I</li> <li>●生活 II</li> <li>●子どもと環境</li> </ul>	<p>小幼コース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●初等教科教育法(図画工作)</li> <li>●初等教科教育法(音楽)</li> <li>●器楽</li> <li>●体育</li> <li>●初等教科教育法(体育)</li> <li>●子どもの表現 II</li> <li>●子どもの言葉</li> <li>●国語(書写を含む)</li> <li>●初等教科教育法(国語)</li> <li>●初等教科教育法(生活)</li> <li>●保育内容の指導法 I</li> <li>●算数</li> <li>●理科</li> <li>●社会</li> <li>●家庭</li> <li>●初等英語</li> <li>●特別活動指導論</li> </ul>	<p>子どものニーズ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援教育・保育</li> <li>●特別支援教育・保育 II</li> <li>●教育相談支援</li> <li>●生徒指導・進路指導の理論と方法</li> </ul>	
子ども理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発達心理学</li> <li>●教育心理学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼児理解の理論と方法</li> <li>●子どもの保健</li> </ul>	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小学校実習指導</li> <li>●小学校実習</li> <li>●幼稚園実習指導 II</li> <li>●幼稚園実習 II</li> <li>●保育実習指導 I(施設)</li> <li>●保育実習 I(施設)</li> </ul>	<p>【課題探求科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育実践研究</li> <li>●保育内容実践研究</li> <li>●専門ゼミナー I</li> </ul>
実習		<p>幼保コース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園実習指導 I</li> <li>●幼稚園実習 I</li> <li>●保育実習指導 I(施設)</li> <li>●保育実習 I(施設)</li> </ul>	<p>教科・保育内容の専門領域</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●造形表現研究</li> <li>●音楽表現研究</li> <li>●鍵盤楽器の表現技法</li> <li>●幼児体育 I</li> <li>●幼児体育 II</li> <li>●保育内容の指導法 II</li> <li>●乳児保育 I ●乳児保育 II</li> </ul>	<p>【実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育実習指導 III</li> <li>●保育実習 III</li> </ul>
			<p>子ども理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもの健康と安全</li> <li>●子どもの食と栄養 I</li> <li>●子どもの食と栄養 II</li> </ul>	<p>【課題探求科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育・教職実践演習(幼)</li> <li>●専門ゼミナー II</li> <li>●卒業研究</li> </ul>
		<p>子どものニーズ支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援教育・保育 I</li> <li>●特別支援教育・保育 II</li> <li>●教育相談支援</li> <li>●子育て支援演習</li> <li>●社会的養護演習</li> <li>●地域と子育て支援</li> </ul>	<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●幼稚園実習指導 II</li> <li>●幼稚園実習 II</li> <li>●保育実習指導 I(施設)</li> <li>●保育実習 I(施設)</li> <li>●保育実習指導 I(保育所)</li> <li>●保育実習 I(保育所)</li> <li>●保育実習指導 II ●保育実習 II</li> </ul>	<p>【課題探求科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育内容実践研究</li> <li>●専門ゼミナー I</li> </ul>



## 授業ピックアップ



英語コミュニケーション



図画工作



子どもの言葉



教育心理学



スポーツと健康



情報処理論



いのちと倫理

戦争や自殺、虐待や貧困など現代社会における数々の生命倫理の問題について、具体的な事例を交えながらカトリック的生命倫理を背景に涵養。一人ひとりの考え方や意見と同時に教育者・保育者に必要な倫理観を育みます。



## キャリア教育・サポート体制

### 教師塾

1年次から始まる「教師塾」。

教育委員会や現職教員と連携し、教員資格取得を強力バックアップ。

和歌山信愛大学では「教師塾」を開設し1年次から段階を踏んだキャリア形成のサポート体制を整えています。学習活動の計画から必要な知識・技能の習得、また現職教員や元教員を招き教育現場の現状と課題を考えるなど、即戦力となる資質を高めると同時に就職活動や採用試験をバックアップ。就職後のフォローまでしっかりと行います。



### 教職基礎ゼミナール

和歌山県の教育的問題を探求しレポートにまとめ発表することで、レポートの書き方やプレゼン方法など情報共有の手法を修得。また4年間の課題を見出し、大学での学び方や効果的なノートの取り方や活用方法なども身につけます。



### 教職キャリアデザイン

教員になる夢を実現し、自らが持つ能力を活かすため、大学生活における学習活動（キャリアデザイン）の形成を進めていく科目。ありたい将来像について主体的に考えながら自己を客観的に理解する力を養い、目標実現への道筋を考えます。



### チーチャー制度

一人ひとりにきめ細かなフォローができるチーチャー制度を採用。学生には必ず指導教員がつき、就学課題や就職だけでなく学生生活全般を指導・助言。またゼミ形式の授業には複数の担当教員を配し、個別指導に近い形で修業支援を行います。



### インターンシップ

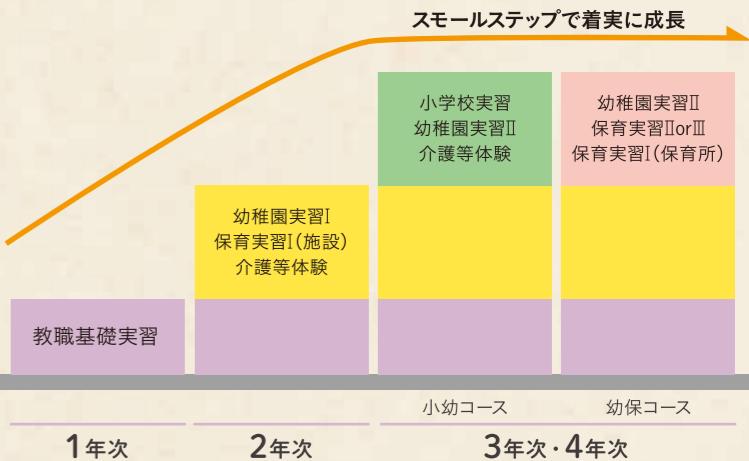
実際の仕事を体験するインターンシップを3年次の正課科目として設置。和歌山県経営者協会の制度活用で研修先に県内の多種多様な企業を確保しているため、教育機関とはまた違った社会に身を置くことで人間的な成長体験が得られます。



## 実習サポート

### スモールステップで着実に成長

和歌山の教育・保育の現場に根ざしてきた信愛は、行政の支援もあり実習先が豊富で多彩。1年次から4年次まで、個々の進路に合った実習を継続的に経験することができます。現在の自分の力を常に確認しながら、課題は次の実習で克服。スモールステップで着実に成長することができます。また子育て支援といったボランティア活動などに参加することでも、たえず子どもと触れ合う環境に身を置くことができます。



教育実習に先立ち、実習中の学びについてガイダンス。またグループワークで実習にふさわしい身だしなみや姿勢、態度などについて考えるなど、主体的に考える指導を進めています。



実習レポートを作成すると共に、お世話になった小学校・幼稚園・保育所にお礼の手紙を書くなどを個別で行います。それを担当教員が確認し、面談しながら実習で得たものや今後の課題について話し合い次のステップへの目標を定めます。

### 実習レポート

#### 実習を通じて現場の大変さとやりがいを実感!

段階を踏んで子どもと共に保育士のタマゴも成長しています

保育士の母を間近に見てきたことから、保育士を志すようになりました。でもこの大学に来て、実習を通して「子どもが好き」という気持ちだけでは越えられない難しい問題がたくさんあるのだと気付かされました。子どもの成長に関わる仕事には大きな責任が伴います。子どもたちは決して授業で学んだ通りには動いてくれません。そのため実習に参加して臨機応変に対応していくことが大切で、実習で冷静に判断し、適切に対応できるためにも事前の学習を重ねていくことが必要になります。信愛大学では一年次から実習があり、早いうちから現場を体験することができるのが魅力の一つです。基礎からしっかりと現場で学ぶことができるので、安心して段階的に学んでいけます。保育士は大変。でもそれ以上のやりがいも感じ、今

まで以上に「なりたい」気持ちが高まっています。実習で経験したことを自分なりに工夫して次のステップに役立てればと思います。子どもからも周囲からも信頼厚く、いつも笑顔の母のように、私もいつか子どもや保護者、先生たちとしっかり向き合える保育士になりたいです。



臨機応変に対応できるよう知識が必要。  
行く前から実習は始まっています。



# スタディーレポート

先輩たちは何を考え受験し、入学後はどう過ごしているの？そんな疑問に応え、気になる和歌山信愛大学での学びについて先輩たちが一問一答。好きな授業から将来の目標まで、リアルな学生の声を聞かせてもらいました。



音楽の授業。楽器を使ってグループで演奏します

本町子どもフェスタではボランティアとして参加

- 地元で学び、地元で学校の先生を目指したかったから。
- 先生がみんな親切。もっと厳しいかと思っていたら普通に話してくれ、いろんなアドバイスをくれるのが嬉しいです。
- 「子どもの言葉」。発達段階の子どもの言語表現について、先生自身が現場で学んできたことを伝えてくれるので非常に興味深いです。
- 幼稚園・小学校教諭

- 子どもに負けない体力づくり。といつても趣味程度ですが、昼休みに体育館でバスケをしたり、家に帰ってからもランニングをしたりしています。
- 子どもたちがなんでも話してくれて、信頼される先生になりたいです。
- 今和歌山信愛大学はできたばかりだからこそ、いろんなことを自分たちで作ることができます。一緒に大学を盛り上げましょう！
- 幼稚園・小学校教諭



図書館にて、授業で使用する絵本探し



和歌山県立那賀高等学校出身 西村 優志さん

## Question

- 和歌山信愛大学の志望動機を教えてください
- 実際に入学してみて感じたことを教えてください
- 授業で好きな科目とその科目の好きなところを教えてください
- 取得したい免許・資格はなんですか？

- 授業以外で取り組んでいる活動・頑張っていることがあれば教えてください
- 将来の夢を聞かせてください（どんな人になりたいか、でもOK）
- 受験生へのメッセージ・アドバイス



オープンキャンパスサークルで活動中

アクティブラーニングを用いた授業中。みんなで話し合いながら課題を解決します

和歌山県立桐蔭高等学校出身 山野 紗綾さん



- 小学校教諭と保育の勉強が両方できること。自宅から通えることも決め手でした。
- 先生方が全学生の顔と名前を把握されていて、すごくフレンドリーにお喋りしてくださるのに驚きました。
- 「スポーツと健康」。体を動かすことが好きというのもあります、子ども向けの運動を実際に体感できて楽しいです。
- 幼稚園・小学校教諭

- スポーツサークルを作つて毎週いろんなスポーツを楽しんでいます。徐々に人が増え、できるスポーツも増えてきました。
- やさしくておもしろくて、子どもに信頼される立派な教育者になる！
- 地域の人とも関わる機会が多く、クラスメイトとも限られた人数だからこそより密に過ごせます。待っているのは楽しい大學ライフ。頑張ってください！
- 幼稚園・小学校教諭



「スポーツと健康」の授業中。チーム一丸となって対戦！



ボランティアに参加し、子どもたちと電車ごっこ！

放課後は本を探しに友達と図書館へ



和歌山県立和歌山商業高等学校出身 西芽依さん

- 少人数制なのでサポートも手厚く、着実に夢に近づけると思ったから。
- イメージ通り明るくていい大学でした。クラスも先生もいい人ばかり。男子学生は僕を入れて学年に25人。思ったより安心しました。
- 「保育課程論」。小学校教諭志望なんですが、最近保育にも興味があり、この授業で学ぶ子どもの保育計画や歴史が興味深いです。
- 幼稚園・小学校教諭



和歌山県立和歌山北高等学校出身 吉永 誠さん



大学祭の様子

## 2 地域との関わり

子どもたちを取り巻く環境の変化や  
地域社会に起こっていること、街が持つ魅力、  
そんな「地域のいま」を正しく捉え、  
対応していく力を身につけるため、  
本学は和歌山県内の自治体や地域団体と連携。  
さまざまなプロジェクトを進める中で実感できる、  
時代に即したかけがえのない体験をバックアップします。



### 地域連携で交流し、学びを実践

## 01 地域連携フィールド学習で、 日高川町と湯浅町と連携し学びを深める



和歌山県中南部に位置し、ミカンなどの柑橘類の栽培がさかんな日高川町。また古くは熊野古道の宿場町として栄え、醤油発祥の地としても知られる湯浅町。和歌山県にはこうした歴史と自然に包まれた町がたくさんあります。学生たちはこれらの地域を実際に訪問し、地域住民の家に宿泊しながら農作業や醤油醸造を手伝うなど、その町での暮らしを体験。さまざまな世代の人たちとの交流を通じて地域の課題や魅力を見つけ、視野を広げます。



左／日高川町の保育所にて運動会の練習中！ 中央／植物の繊維をとって紐作り 右／畑に使う土づくりをお手伝い

### Topics 01

#### 地域未来塾

日高川町では2015年から文部科学省が取り組む「地域未来塾」を導入。塾などに通わない子どもたちの学習支援や、放課後の子どもの居場所づくりを目的に、放課後の空き教室を利用した「居場所づくり」を推進しています。地域の子どもを地域で育てる取り組みで、中心になるのは教

師経験者や保護者などの地域ボランティアの人たち。主には学習指導を行うことで子どもたちの未来の可能性を広げる事業です。学童保育と違うのは学習指導を主軸としている点。自宅外で宿題や苦手克服にしっかりと時間を割けるため、児童にも保護者にも好評となっています。本学



の学生たちもフィールド学習を通じてその活動をサポートし、地域と連携した教育環境づくりについて学んでいます。



子どもたちと一緒に工作体験



ぶらくりバイキングにて受付や抽選係をお手伝い

## 02 ぶらくり丁商店街を元気に！ 活性化プロジェクト

和歌山信愛大学のすぐ近くにある「ぶらくり丁商店街」。中心市街地で170年以上愛されてきた歴史を持ちながら空洞化の悩みを抱えるこの商店街に、かつての賑わいを取り戻そうと組合や行政など多くの団体が取り組んでいま

す。和歌山信愛大学もこの取り組みに参加し、ゼミ形式で課題解決の手段を模索。立場や世代を超えた人たちと協力し合い、地方創生の動向や経済・産業構造を踏まえたこれからのまちづくりのあり方を探ります。



## 03 和歌山全域をキャンパスに！ 地域ボランティアに積極的に参加

和歌山信愛大学では地域社会に触れ、社会貢献の知見を広げる学外でのボランティア活動の取り組みも推奨。多くの学生が授業の内外でボランティアに積極的に取り組んでいます。教育、保育、福祉の現場だけでなく、和歌山県が主催する障がい者スポーツ大会や子ども食堂など多様な地域活動にもボランティアスタッフとして参加。これらの活動に積極的に取り組むことで、一人ひとりが周囲との信頼関係を築き、地域社会で必要とされる力に。

和歌山県が主催する障がい者スポーツ大会では、参加者の介助や場内整理などをサポート



## Topics 02 子育て支援拠点における活動

2020年4月、和歌山信愛大学の隣に和歌山市初の市立認定こども園「本町認定こども園」が誕生します。保育所、幼稚園で行ってきたことを集約した幼保一元化を実現するだけでなく、障がい児への特別支援教育にも注力し、発達に不安を抱える子どもたち

が安心して過ごせる環境を整備。また上階には和歌山市こども総合支援センターも入り、家庭や子育てに関する悩み相談や支援を必要とする児童・保護者に対応。まさにキャンパス周辺が和歌山市の子育てにおける支援拠点となります。もちろん隣にあるというだけでなく、本学の学生も子どもたちの成長を支援する複合的な交流を予定しています。保育の現場を身近にし、肌で感



じる機会も増えるはず。地域の子育てに貢献することで、おのずと現場での対応力もしっかりと身についていくことでしょう。

# 地域連携体験レポート

大学から一歩出れば見えてくる世界が変わるもの。地域と関わりながらのさまざまな取り組みを先輩たちが紹介。

実際に体験したさまざまな地域連携の現場やリアルな声をお届けします!

## 子どもたちの支え方は一方向じゃない 多様な環境を知るきっかけに

昨年地域連携フィールド学習に参加し、日高川町の保育や教育の現状を見てきました。私の住む紀の川市も自然豊かな場所なんですが、訪れた地域はより過疎化が進み、民泊させていただいたお宅の子は学年にその子1人。それだけ人口減少が進む中でどう町が取り組んでいるか、教育現場の話を聞き、実際に見学させていただきました。

例えば図書室1つ取っても違うんです。畳やソファーを中心と本棚が壁に沿って並べられ、子どもたちが本に囲まれている。多くの子どもがリラックスして本を読んでいました。私の知る図書室とは随分雰囲気が違ったんです。先生に聞いてみると、町に大きな図書館がなく、かわりに学校の図書室に図書館司書の資格を持った先生を配置して、子どもたちが多く来てくれるよう工夫しているという話が印象的でした。

また放課後家で1人になる子を地域で育てる「地域未来塾」の取り組みもとても新鮮に感じました。同じ県内でも環境の違いが大きくあること、また子どもを支えるのは学校の先生だけじゃないということを実感できました。学校の中からだけでなく、外から支援できる仕事もたくさんある。この体験を通じて地域とつながることにより興味を持ちました。現状を知った上で何をしたいのか、今後につなげていければと思っています。



和歌山県立  
向陽高等学校出身 滝川 千夏さん



開智高等学校出身 山田 楓斗さん

## 机の上では感じられない現場の空気を 肌感覚で学ぶことができました!

地域連携フィールド学習の一環として初めて訪れた日高川町。実際に現地の人のお宅に泊めてもらい農業体験をしたり教育長の話を聞いて教育現場を訪問したりと、充実した2泊3日を過ごしました。

日高川町は和歌山市内と比べると人数が格段に少ないけれど、その分子ども同士の関わり方がすごく濃く、絆が深い。地域未来塾など、子どもたちが学校以外にもコミュニケーションを深める場があり、すごくお互いが親密なんです。もちろんそれは子どもだけでなく、町全体が仲が良いように感じました。

地域の子どもたちと関わってみて、大学で話を聞いているだけではしつこい部分も肌で感じることができた気がします。何より地域と学校との連携や交流がすごくしっかりできている。和歌山市内でも同じようにできればいいのになと思いました。とはいえ、もちろんいいことばかりではありません、過疎地域であるがため、若い人が仕事を求めて外に流出してしまうケースも多いそう。今いる地域の人とともに活性化に向けて取り組んでいけたらいいのになと思いました。

## 保育や教育の現場で先生を補助しながら 実践で子どもの声や反応を体感

私が目指しているのは小学校の先生。そのためにも実際に小学校や幼稚園に行って先生方の補助をする教育・保育ボランティアをしています。長期休暇のタイミングだけですが、校長先生に相談して行かせてもらうことにしました。

もともとあまり人前に立つのは得意ではなく、将来教育実習に行く時のためにも少しでも慣れたいというのがありました。物怖じしてしまうので、実際最初は子どもたちが寄ってきてくれなくてどうしようかと思いました。でも何度か顔を合わせていると、子どもたちも顔を覚えてくれて今では「怜先生」って呼んでもくれたりもして、すごく嬉しかったです。

授業で学んだことも子どもたちへの対応に取り入れていくようになります。この間小学校に行った時にあることを注意したら「うるさい」と言われたんです。そういった時の対処方法も聞いていたので実践してみたんですが、それが本当に良かったのかどうかはまだわかりません。子どもと接するのは難しいと感じました。もっと子どもと触れ合う時間を増やすため、ボランティアに積極的に参加したいと思います。



運動会にも応援に参加。何度かの訪問を経てすっかり子どもたちとも仲良しに



和歌山県立  
那賀高等学校出身 岩本 怜さん



ブースや来場者カウント、物販など、それぞれ担当にわかれイベントをサポート

大阪府立  
和泉高等学校出身 山原 碧沙さん

## イベントのサポートを通じて 子どもと地域に同時にアプローチ

ぶらくり丁の活性化に関わる企画など、さまざまなイベントに和歌山信愛大学からボランティアスタッフとして参加しています。内容はイベント受付や物販の補助など多岐にわたりますが、やはり子どもと関わる工作コーナーなどを担当すると、小さい子により関わることができて嬉しいですね。

秋にハロウィーンのイベントがあったんですが、いつもは人通りが少なく静かなイメージのぶらくり丁に小さい子がたくさん仮装で来てくれて、すごく賑わいました。この日は会場でキャンディラリー(スタンプラリー)のブースにいたのですが、500人近くの子どもたちが入れ替わり立ち替わりブースに来てくれました。たくさんの子どもたちと関わるのはもちろん、通りすがりのおじいちゃんが「こんなに賑わっているぶらくり丁は久しぶり」と喜んでくれたこともなんだか嬉しかったです。

大阪出身の私も、子育て広場や子どもフェスタ等のイベントに参加したり、夏休みには幼稚園の夏祭りの準備も手伝いに行きました。今後も子どもたちとの関わりやイベントのサポートを通じてますます和歌山という地域に関わっていきたいです。

# 3 人との繋がり

「人」を育てるのは「人」。  
さまざまな人との交流を持つことで、学びや成長、学生生活は  
ひときわ充実したものになるはずです。  
学生同士、地域の人や子どもたち、そして受験生と。  
さまざまな人との繋がりを通じて、教育者・保育者としての  
深い人間力を養います。



## 交流を深める、学生たちの取り組み

### 大学祭「和信祭」



地域との密接な連携が和歌山信愛大学の特徴の1つ。大学祭も自分たちだけでなく地域と共に盛り上げたい!と、参加型のイベントを多数企画。模擬店や発表だけでなく、のど自慢大会や抽選会、チャリティーバザーなど地域の人たちとの交流を深める内容で、子どもたちからお年寄りまで世代を問わず楽しめる大学祭を目指しています。

### ○大学祭実行委員会

私たちにとっても大学祭は初。どうすれば来てくれた人に楽しんでもらえるかに加え学生が、計画や運営に楽しみを見出しきることも目標の1つに。実行委員だけでなく周りも動いてくれ、みんなで作り上げる達成感がありました。

第1回委員長 田端さん

### ○子育て支援キャラバン隊



特に子育て支援イベントを開催し、色々な地域の方や幅広い世代の方と触れ合います。

### ○子どもフェスタ

「子どもの笑顔がいっぱいになる街づくり」を目指し、乳幼児から小学生とその保護者たちを対象に開く「子どもフェスタ」。学生や教員が中心となり、ダンスパフォーマンスや工作、読み聞かせなど様々な切り口で子どもたちと交流。また子育て講演会や相談会などもあり、保護者も楽しみ、学べるイベントです。今後は、和歌山県内、いろんな場所で行う予定です。



### ○オープンキャンパス

オープンキャンパスも教員とともに学生もたくさん参加します。1期生が企画した様々なイベントを実施。付き添いに来たお子様も楽しめるようにと考えています。



### ○OCPTサークル (オープンキャンパスプランニングチーム)

模擬授業のサポートに入ったり学生の本音トークで自分のことを話すなかで、大学と学生生活の魅力が受験生に伝われば何より。準備は大変ですが、来てくれた高校生と話していると、企画してよかったなと感じます。



## Fun! Fun! Fun! 学生たちがつくったサークル活動

### ○ダンスサークル「Meile」



「Meile(メイレイ)」はリトニア語で「愛」。信愛の「愛」をとて名付けました。経験者は半数でしたが、無事に子どもフェスタでデビュー。今はコピーバリで、いつかオリジナルの振付もしてみたいです。

### ○社会教育サークル 'わかまなび'

他大学と連携した社会教育サークル。主に、かつらぎ町天野地域の活性化プロジェクトに参加しました。



### ○音楽サークル



大学祭や子どもフェスタで舞台発表をしました。子どもから大人まで、一緒に口ずさめる曲を選曲しています。

### ○スポーツサークル



男女問わず、種目を問わず、やりたいスポーツをみんなで仲良く行います。

### ○アートサークル



季節やイベントに合わせて、顔出しパネルなど、子どもが喜ぶ作品を制作!

### ○書道サークル



好きな時に好きな文字を書く、それがモットー! 大学祭でも作品を披露しました。

### ○バドミントンサークル



経験者も未経験者も、混ざって全力で体を動かします。

### クリスマス会



次年度入学生たちとの交流も兼ねて



### 紀州おどり「ぶんだら節」



和歌山市では毎年夏の風物詩である「紀州おどり『ぶんだら節』」。通りを踊りながら練るこの祭に和歌山信愛大学連として参加。



# 教員との距離が近く、手厚いサポート

和歌山信愛大学の特徴の1つが学生と教員の緊密なコミュニケーションにあります。教員が一人ひとりの学生をしっかりと把握し、それぞれに合わせて目標へと導きます。

## 少人数制のゼミを1年次から必修にしています

1年次から4年次まで配置する必修のゼミ形式授業は5人から最大10人の少人数制で実施。そのため細やかな指導体制が整っています。



Teacher's yell!

## 教員からのエール



星野 正道先生  
信愛教育/  
いのちと倫理

普遍的かつグローバルな  
「教育」の必要性を  
肌で感じ、生かせるように



村上 凡子先生  
教育心理学/  
特別支援教育・保育

私たちが育てるのは将来専門職として成長できる「根っこ」。これは、理論知と実践知から成り立っていると考えています。子どもたちの成長を支えるため、教育学、心理学が連絡と築き上げてきた授業・クラス集団づくりに関する理論を基盤に、実践力を養う授業を展開します。同じ志をもつみなさんと共に学びを深めることを心から楽しみにしています。



小林 康宏先生  
日本語表現/  
初等教科教育法(国語)

本学で学ぶ多くの皆さん、4年後、教育現場で働くことになるでしょう。着任するとベテランも若手も関係なく「実践力」が求められます。本学では教育現場での経験豊富なプロの教員による丁寧かつ親身な指導で、自信と実力をもって教育現場に羽ばたくことができます。先生になって子ども達の輝く笑顔と会いたい皆さん、本学で共に学びましょう!

## 距離が近くなる仕組み

### オフィスアワーで さまざまな相談に 応じます

学生たちが授業内容や大学生活上  
のさまざまな問題について教員に  
個別に相談したり指導を受けられるようにと設定されている「オフィスア  
ワー」。この時間帯には各教員は研究室で待機。学生は原則事前の予  
約なしで自由に研究室を訪問し相談することができるため、しっかりと信  
頼関係を築くことができています。



### 学生の自主性を しっかりとサポートする 教学センター

学びと同時に学生生活をサポートする「教学センター」。履修登録から  
実習に関する疑問や悩み、留学、学外活動など、学内の授業以外の自  
主活動や課外の活動について的確かつ細やかにアドバイス。また相  
談から成績や進路についてなど「何かあれば教学センター」と頼れる幅  
広い学生相談窓口にもなっています。

## 少人数制のゼミを 1年次から必修にしています

1年次から4年次まで配置する必修のゼミ形式授業は5人から最大10人の少人数制で実施。そのため細やかな指導体制が整っています。



Teacher's yell!

## 教員からのエール



星野 正道先生  
信愛教育/  
いのちと倫理

普遍的かつグローバルな  
「教育」の必要性を  
肌で感じ、生かせるように



村上 凡子先生  
教育心理学/  
特別支援教育・保育

私たちが育てるのは将来専門職として成長できる「根っこ」。これは、理論知と実践知から成り立っていると考えています。子どもたちの成長を支えるため、教育学、心理学が連絡と築き上げてきた授業・クラス集団づくりに関する理論を基盤に、実践力を養う授業を展開します。同じ志をもつみなさんと共に学びを深めることを心から楽しみにしています。



小林 康宏先生  
日本語表現/  
初等教科教育法(国語)

本学で学ぶ多くの皆さん、4年後、教育現場で働くことになるでしょう。着任するとベテランも若手も関係なく「実践力」が求められます。本学では教育現場での経験豊富なプロの教員による丁寧かつ親身な指導で、自信と実力をもって教育現場に羽ばたくことができます。先生になって子ども達の輝く笑顔と会いたい皆さん、本学で共に学びましょう!

## 研究機関



子ども学に関する講座の様子

桑原 義登先生

## わかやま子ども学 総合研究センター

子どもを中心に据えた研究と実践活動で  
教育と福祉の現場課題に糸口を

和歌山県と和歌山市との連携協定で「教育現場や福祉現  
場の課題について研究する役割を果たして欲しい」という要  
請を受け、立ち上げたのが「わかやま子ども学総合研究セン  
ター」。本学の建学の精神に基づき、子どもの心身の成長や  
発達・生活・文化・教育・福祉・子育て支援等を総合的に研  
究する「子ども学」の多角的な調査研究と実践を行い、地域  
社会や公共の利益に貢献することを目的としています。教科  
指導や不登校などの課題等について、子どもを中心に据えた  
研究と実践活動を幅広く行い、電子ジャーナルによる研究報  
告を行う予定です。

## (教・共・郷) きょう育の和センター

地域と家庭、産学官の同時連携を通じて  
学びと地域発展を目指します

地域社会に開かれた大学として、さまざまな地域連携や  
産学官連携の総合窓口となるべく当センターを設置しました。  
家庭と地域社会および保育所、幼稚園、認定こども園といっ  
た横の連携、保育所、幼稚園と小学校の教育を繋げる縦の  
連携。これらを踏まえた子育て・子育ちを総合的に支援でき  
るよう学生と教職員が一体となって活動を行っています。

子ども教育に特化した本学ならではの課題、ニーズを的確  
に把握し、大学と地域が協働して取り組むことで、学生の中  
に学び、社会で活かす力が育まれ、地域社会の発展向上に貢  
献できればと願います。



本町子どもフェス  
タを企画。当日は多  
くの子どもたちが来  
てくれました



戸潤 幸夫先生

## 学長メッセージ

聖書の中には奇跡の話がよく出てきますが、その  
一つに「水がぶどう酒に変わる」という話があります。  
婚礼でぶどう酒が足りなくなった際、イエスの言葉に  
従って給仕が水がめのふちまで水を満たしたところ、  
良いぶどう酒に変わったというものです。

この「いっぱいにする」という行為は、とても深い  
意味を持っていると思います。精一杯限りを尽くして  
限界に近づくことで、それまで見えなかつたものが  
見え、感じなかつたことが感じられ、視野が広がるこ  
とは、誰にも起こり得ることではないでしょうか。



学長  
Sr. 森田 登志子

# UNIVERSITY LIFE

実家からの通学、一人暮らし、どちらもそれぞれの良さがあります。

そこで、実際に実家で、一人で、どう暮らしているかを2人の先輩のある1日から紐解いてみました。

## 実家暮らし

なんばから南海本線で、橋本、御坊からJR和歌山・きのくに線でそれぞれ1時間。そこから和歌山信愛大学へは歩いてもバスに乗ってもそう遠くはありません。そんなアクセス抜群の通いやすい立地が、家から通学している学生が多い理由のひとつです。

### 野上夏生さんの場合



地元組も多いので、通学仲間もたくさん。帰るギリギリまでおしゃべりを楽しんでます♪

勉強も遊びも  
バイトも全カッ!!

### 地元を愛する気持ちプラス 時間を効率よく使えるのが嬉しい

家から学校までは原付で20分ほど。通学に時間あまり取られないことから、勉強の時間もバイトの時間もしっかり取れることができます。何より「和歌山大好き」を自称する地元愛から和歌山信愛大学を選びました。子どもが好きで教育の道を志したけれど、かつては地元に選択肢が多くありませんでした。進学のタイミングで和歌山信愛大学が創立され、他府県に出なくとも地元で通えることは本当に嬉しかったですね。同じ目標に向けて歩む友達がたくさんでき、また一から自分たちで作り上げていくことがすごく楽しいです。お昼は学生ラウンジでみんなでお弁当を食べるので、大学で使うのは飲み物代ぐらい。バイト代は主に服を買ったり友達と遊びに行くのに使っています。



子どもたちに囲まれて夢への  
気持ちを新たに。

### とある1日のスケジュール

08:50 登校

09:00 1限「図画工作」

大好きな授業の1つ! この日は板に砂を貼った上に絵を描く授業でした。

10:50 2限「いのちと倫理」

子どもの貧困や虐待についてグループワークで話し合い。いい話が聞けました。

12:30 昼食

学生ラウンジでお弁当タイム。食後はみんなで遊んでたらあっという間に休憩終了。

13:30 3限「英語コミュニケーション」

ペアになって英会話のレッスン。お互いに教えあって楽しくスキルが磨けました!

15:15 下校

16:30 アルバイト

塾で小中学生に教えています。大学で学んだことも少しは生かせてもらいたいな。

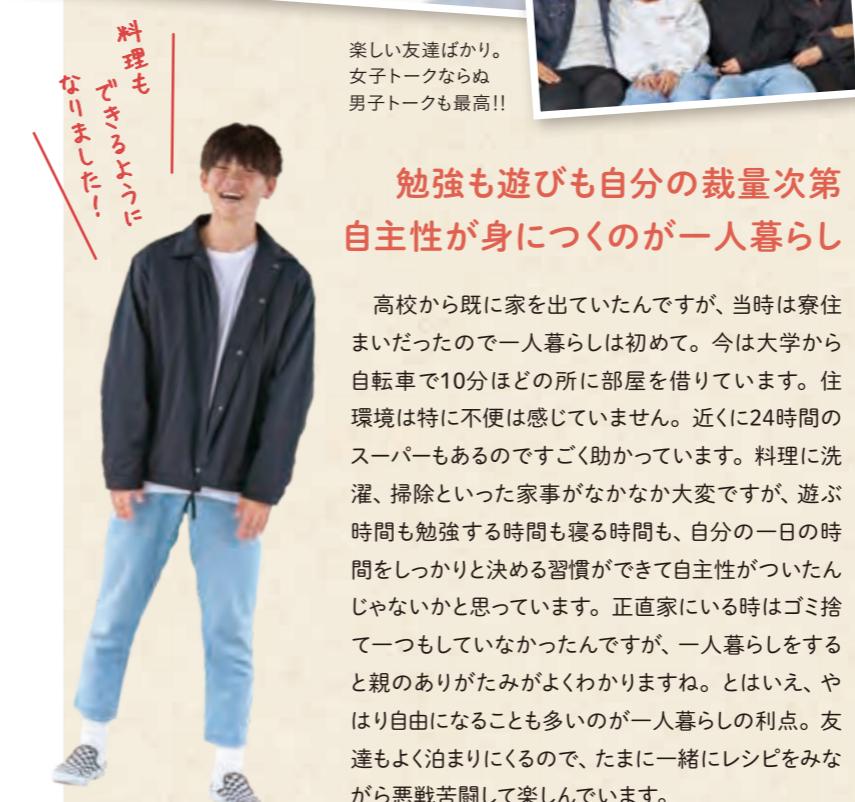
## 一人暮らし

和歌山市の中心部にある和歌山信愛大学。周辺にはスーパー・コンビニ、銀行、病院、ドラッグストアといった生活環境が整い、すぐ近くには商店街も。遠方からの入学で家から離れて一人暮らしをするといった場合にも便利がよく心強いロケーションです。



### 久畠侑也さんの場合

自転車で行ける範囲に大体のものがあり、街中でも自然豊か。通学時も季節を感じています。



### 勉強も遊びも自分の裁量次第 自主性が身につくのが一人暮らし

高校から既に家を出ていたんですが、当時は寮住まいだったので一人暮らしは初めて。今は大学から自転車で10分ほどの所に部屋を借りています。住環境は特に不便は感じていません。近くに24時間のスーパーもあるのですごく助かっています。料理に洗濯、掃除といった家事がなかなか大変ですが、遊ぶ時間も勉強する時間も寝る時間も、自分の一日の時間をしっかりと決める習慣がでてきて自主性がついたんじゃないかなと思っています。正直家にいる時はゴミ捨て一つもしていなかったんですが、一人暮らしをすると親のありがたみがよくわかりますね。とはいっても、やはり自由になることが多いのが一人暮らしの利点。友達もよく泊まりにくるので、たまに一緒にレシピをみんなで悪戦苦闘して楽しんでいます。

### やりくり上手?! 1ヶ月の生活費(約93,000円)

食費	20,000円	光熱費	7,500円	被服・美容	4,500円
住居費	50,000円	趣味	3,000円	通信費	3,000円
		貯金	5,000円		



### 賃貸住宅センターが一人暮らしをサポート

自宅からの通学が困難な学生の為に、本学と連携している「賃貸住宅センター」を紹介します。賃貸住宅センターでは、卒業まで安心して住むことのできる住まい探しをお手伝い。必要な学生は、事務室に相談してください。

### とある1日のスケジュール

08:50 登校

09:00 1限「教育心理学」

10:50 2限「情報処理演習」

表計算やプレゼンソフトの使い方を教わりました。聞くと簡単なようで意外と難しい!



12:30 昼食

お昼はコンビニで買うか、弁当を作るか。体育館で食べてその後は友達とバスケ。

13:30 3限「スポーツと健康」

15:20 4限「教育制度論」

17:30 ラウンジで友達と自主勉強



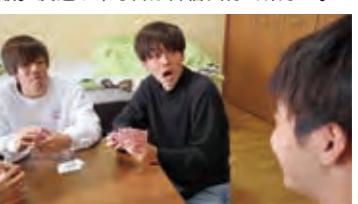
18:00 体育館でスポーツ

スポーツサークルでバレー・バドミントン、サッカー、缶蹴りと思いきり運動。



20:30 帰宅

友達が遊びに来るので手製のカルボナーラで夕飯。友達が来る日は合宿気分で楽しい♪



Tel.073-425-5123(代)

【住所】和歌山市美園町5-2-5 アイワビル1F  
(和歌山駅前本店)

【営業時間】9:00~19:00

【定休日】年中無休(季節休暇を除く)

【HP】<http://www.w-chintai.net/>

# CAMPUS MAP

小学校跡地をリノベーションして誕生した和歌山信愛大学。  
渡り廊下や子どもの歩幅に合わせた階段など、  
所々に当時の面影を残すキャンパスは  
先生を目指すにふさわしい環境と言えるでしょう。



## 1号館

小学校の教室を生かした模擬教室や、最大100名が利用できる中講義室、多目的コンピューター室、家庭科教室、図工室などの特別教室を配置。このほか図書館や学生ラウンジなども備わっているため、授業外で多くの学生が行き来しています。



- 1階  
・事務室  
・非常勤講師室  
・学生ラウンジ①  
・図書館  
・学生自習室①

- 2階  
・学長室  
・応接室  
・中講義室①  
・図工室

- 3階  
・多目的コンピューター室  
・模擬教室  
・家庭科教室



### 図書室(1号館)

初等教育関連の専門図書から幼稚教育・保育関連、地域関連の専門図書まで、さまざまな分野の図書を所蔵。さらに本学と姉妹校の和歌山信愛女子短期大学間で毎日1~2便の図書配達便を運行し、両校の蔵書を互いに利用できるよう連携しています。



## 2号館

5室の講義室のほか、心理学演習室、教学センター、理科室、24台の電子ピアノを備えるML(ミュージック・ラボラトリー)などがあります。また教員の研究室もこの棟に多くあるため、気軽に相談に訪れる学生の姿が日常的に見られます。

### 1階

- ・ML教室
- ・講義室①
- ・医務室
- ・中講義室②

### 2階

- ・教學センター
- ・相談室
- ・会議室
- ・LANDs①
- ・講義室②・③
- ・理科室

### 3階

- ・講義室④・⑤
- ・心理学演習室



### Pick up ラーニングコモンズ「LANDs」(2号館・3号館) ランズ

「アクティブラーニング」に適応した学習空間。講義や実習、プレゼンといった学習スタイルの変化に応じてスペースを柔軟に変更できるよう机、イスを可動式に。また視聴覚機器やコンピューター、無線LANなどを整備し、学生の能動的・協働的な学びを支援します。



## 3号館(2020年10月より使用予定)

2020年より開設の3号館は、幼稚園だった建物をリノベーション。学生ラウンジや学生自習室など授業外で自由に使える場所を広く確保。サークルのミーティングにも使える!

### 1階

- ・チャペル
- ・学生ラウンジ②
- ・学生自習室②

### 2階

- ・音楽室
- ・LANDs②
- ・保育実習室

### 音楽室



# CAMPUS SCHEDULE

入学後は授業以外にも大学祭やクリスマス会など  
年間を通して行事が盛りだくさん!  
地域と関わるイベントも多く、充実のキャンパスライフが送れます。



地域から愛される  
先生になろう

OPEN CAMPUS  
2020

予約不要  
入退場自由  
小中高生だれでもOK  
保護者友達同伴OK

**6.6**  
[SAT]  
13:00~16:00

**7.18**  
[SAT]  
12:00~16:00

**8.22**  
[SAT]  
12:00~16:00

**10.10**  
[SAT]  
13:00~16:00

**3.3**  
[SAT]  
13:00~16:00

大学説明

入試説明

体験授業(科学／中高生)

体験授業(音楽)

体験授業(科学／小学生)

**オープンキャンパスで一足先に体験しよう!**

オープンキャンパスは模擬授業や在学生の本音トーク、スタンプラリーなど、楽しみながら和歌山信愛大学がわかる1日です。一期生として学んだことを自分たちの声で届けたい。たくさんの参加をお待ちしています!

OCPT (オープンキャンパスプランニングチーム) サークルリーダー 岩田莉紗さん

お問い合わせ

和歌山信愛大学 教学センター (Tel.073-488-3120)

※駐車場はございませんので近隣の有料駐車場をご利用ください、公共交通機関でお越しください。



**和歌山信愛大学**  
Wakayama Shin-ai University

〒640-8022 和歌山県和歌山市住吉町1番地

代表 TEL:073-488-6228/FAX:073-488-6260

入試のお問い合わせ / 資料請求 TEL:073-488-3120/FAX:073-488-3203

和歌山信愛大学について  
もっと詳しく知りたい方は  
こちら



和歌山信愛大学のホームページ